

第4回稲沢市給食基本計画策定委員会 議事要旨

日時：令和元年4月28日（火）
14時00分から15時20分まで
会場：稲沢市役所3階 議員総会室

1 開会

【開会のあいさつ】

【委員長あいさつ】

2 協議

(1)稲沢市学校給食基本計画(案)と(2)新たな学校給食施設の整備について

委員：今後の整備スケジュールの中で、祖父江給食学校給食センターの食数について、保育園の食数も含めて検討しているのか。

(株)創建：祖父江学校給食センターは中期の整備を想定しています。令和7年では提供食数が不足していますが、令和12年の保育園を含んだ食数にも対応可能になることを示しています。

委員：新規給食センターの最大提供食数が6,000食となっているが、市営井之ロプール跡地の設置に問題はないか。

(株)創建：用地を新たに求める場合は、数億の費用がかかりますが、市が所有している市営井之ロプール跡地を活用することで用地取得費を削減する事が可能です。配送時間については、市営井之ロプール跡地からの配送が可能な範囲として、清水小学校の範囲まで対応が可能です。清水小学校については、祖父江学校給食センターの方が近く効率がよいため、祖父江学校給食センターからの提供と考えています。想定している千代田中学校までが概ね15分の範囲にあり、渋滞等を考慮しても問題ないと考えています。

委員：新規給食センターの最大提供食数が6,000食だとかなりの規模になるため、祖父江学校給食センターとの比重を考慮してはどうか。

(株)創建：巨大な施設とならないよう考慮して、現状は、清水小学校や国分小学校は祖父江学校給食センターの範囲として考えますと、祖父江町学校給食センターの最大提供食数2,500食で足りると考えている。

委員：新施設で担当する学校数を見直し、食数を減らすことで、新たに整備する施設の規模を抑えることはできないか。

(株)創建：配送時間の余裕を考慮して20分としている。祖父江学校給食センターを中心として考えると、千代田小学校までが20分で配送可能な範囲の限度です。それ以上は、20分以上必要となるため、現状の案としています。千代田中学校、千代田小学校については、2校で500食あり、新規給食センターか祖父江学校給食センターのどちらの対象とするのか、検討の余地はあると思います。

委員：新規給食センターの令和7年の食数が5,158食と見込んだ場合、概ね、最大提供食数

- の8割の稼働率が必要だと思われるが、最大提供食数は6,000食で大丈夫か。
- 事務局 : どれだけ最大提供食数に余裕を持つかによります。令和13年ぐらいまでは86~87%で推移していきますが、以降は生徒数が減少していく傾向にあります。できるだけ、過剰投資とならないように整理する必要があります。もう少し余裕をみて、6,200食等の計画は可能です。想定している市営井之口プール跡地にも立地は可能な規模です。余力については精査します。
- 委員 : 平和町学校給食調理場は千代田小学校と千代田中学校を含むと稼働率が100%を超えているが、問題はないか。
- 事務局 : 平和町学校給食調理場の稼働率が100%を超えている箇所は、平和町学校給食調理場が千代田小学校と千代田中学校に一番近いですが、対応できないことを示す参考値です。ピンク色に塗られている数値が現状の案です。稼働率8割は一般的な基準ですか。
- 委員 : 資料が手元にないため、後日、提示する。
- 事務局 : 保育園についても、今後、学校給食センターで対応が可能になるとよいと考えているが、保育園の児童数の推移等、今後の展望を教えてください。
- 委員 : 公立保育園では、平和地区の3つの保育園が統合され、令和4年度より民間事業者による認可保育園に移行することが決まっている。それ以外の保育園のあり方については、現在、あり方検討委員会を設置して、議論しており、今年度中に統廃合、民営化も含めて、方向性を示す予定である。全保育園の児童数は、今年の3月に策定した「子ども・子育て支援事業計画」に示しており、西尾張中央道より東にある児童数は増え、西側では減少傾向にある。具体的な児童数は、後ほど、事務局に示す。給食のあり方について、令和3年度に旧稲沢地区の保育園の一部の民間委託の導入が決まっているのみで、その他は白紙の状態である。
- 事務局 : 保育園も調理員が1人等の課題があるが、給食基本計画に保育園関連では、現状のあり方を踏襲する内容を記載する方向でよいか。
- 委員 : 現状は、それ以上の記載はできないと思われる。
- 委員長 : 整備スケジュールの中期に残す「一部単独調理場」とはどの施設か。新規給食センターの対象校が該当するか。
- ㈱創建 : 新規給食センターの対象校が令和7年までに移行する単独調理場である。令和7年度以降に祖父江学校給食センターに統合する4校を中期に残す「一部単独調理場」として示しています。
- 事務局 : まずは、13校を対象校とする新規給食センターを設置して、平成元年度に建設された施設のため、1日も早く建替えをしたいと考えており、令和12年度の建替えにあわせて、新たに4校を対象校に移行したいと考えている。
- 委員長 : 祖父江学校給食センターは、令和11年度までは「祖父江地区の小・中学校」の食数で見ると稼働率に余裕はある。しかし、「明治地区の小・中学校」や「保育園」を加えると稼働率が100%を超えることになるが、気にしなくてよいか。
- ㈱創建 : 「明治地区の小・中学校」や「保育園」を加えた場合の稼働率は、令和12年度以降の建替え時には100%を下回る稼働率となっているため、令和11年度以前は参考とし

て比較しています。

委員 : 稲沢中学校の単独調理場は比較的新しい施設であったため、中期の一部単独調理場として残ると考えていたが、新規給食センターに含まれている。委員より食数が多いため施設規模が大きくなっていないかという意見を考慮すると、稲沢中学校で調整はできないか。

事務局 : 前回か、前々回の委員会で稲沢中学校等を残した中で新規給食センターを整備する案を提示していたと思いますが、数字の組み合わせにはなりますが、給食調理場の移行の回数が多く、複雑な組み合わせとなっていました。一度移行すると、以降の移行も難しくなることがあるため、少ない回数で移行した方がよいと考え、今回の案を提示しています。

委員 : 例えば、稲沢東部学校給食調理場の稲沢西小学校を新規給食センターに移行する点等も同様の考え方か。

事務局 : 同様の考え方になります。令和7年度にまとめて移行することが一番スマートな案となりました。一方で案として公表するのもありますが、調整が必要になると思われます。

委員 : 食数だけで考えると、祖父江学校給食センターと平和町学校給食調理場では、法立小学校と三宅小学校を祖父江学校給食センターの対象校として、千代田小学校、千代田中学校を平和町学校給食調理場の対象校とする案もあると思いますが、単純に数だけでは難しいという理解でよいか。

事務局 : 現状からの移動を極力少なくしており、難しいと考えています。

委員長 : 活発な意見、ありがとうございました。これまでに議論しました計画書(案)について、概ね、今回の内容でまとめとなります。

3 閉会

【閉会のあいさつ】

事務局 : 次回の委員会が最後の会議となります。パブリックコメントの実施及びとりまとめを行うため、6月中旬以降の開催になると思います。詳細については、改めて連絡しますのでよろしくをお願いします。